

しんあい

季刊

2006年(平成18年) 3月20日発行 第59号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-366-0080


多摩同胞会のホームページを開設
しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をご覧ください




介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑在宅介護支援センター

 **0120-6540-24**

老後支援 24時間

- あさひ苑在宅介護支援センター

 **0120-2942-24**

福祉にっこり 24時間

- 介護保険を考える
PART22
- スウェーデン
交換研修報告
- 施設だより
春いちばん

介護保険制度を考える 22

鈴木恂子



2000年4月からスタートした介護保険制度は5年を過ぎ、当初の予定通り、抜本的な見直しが行われました。2006年4月より新介護保険法が施行されます。制度改革の全体像として3つの基本的視点：①明るく活力ある超高齢化社会の構築 ②制度の持続的可能性 ③社会保障の統合化 5項目の改革：①予防重視型システムの確立 ②施設給付の見直し ③新たなサービス体系の確立 ④サービスの質の確保・向上 ⑤負担の在り方、制度運営の見直しが示されています。

これらの改革のうち、②施設給付の見直しは2005年10月より先行実施、他は2006年4月1日より実施予定です。しかし3月中旬を過ぎた現在もまだ全容が明確になっていません。今回はそのような状況のなかで、施設の介護報酬と利用者負担の変化をまとめました。(2006年4月1日以降については、今後の通知等により解釈が変更になる可能性があります)



特別養護老人ホームの介護報酬と利用者負担の変化

(介護度5・多床室・1人1日あたり)



	2000年4月1日～2003年3月31日	2003年4月1日～2005年9月30日	2005年10月1日～2006年3月31日	2006年4月1日～	
居住費			利用者負担 320円	利用者負担 320円	2000年4月から2006年4月までの間に介護報酬は3回変更になりました。 ①2003年4月には特別養護老人ホームの介護報酬は、年間収支差が他事業に比べて多いという理由で減額されました。しかし収支差の多くは職員の給与見直しや非正規職員化によるものでした。東京など都市部と地方の人件費格差等も影響し、都市部の現場は更に厳しくなりました。 ②2005年10月には居住費と食費(調理コスト分含む)が利用者負担となり、介護報酬が減額されました。これにより施設の収入は減額し、利用者負担は増額しました。 ③2006年4月には、制度発足当初より1人1ヶ月16,200円の減額となります。一方、細分化された各種の加算が設定されました。しかしいずれの加算も医療職を中心に個別にアセスメント、ケアプラン、継続的な見守り、評価の繰り返しが必要となり、この記録が加算の根拠として必要です。
食費	利用者負担 780円 保険給付 1,340円	利用者負担 780円 保険給付 1,340円	利用者負担 1,380円 (調理コスト含む)	利用者負担 1,380円 (調理コスト含む)	
介護報酬 (介護度5・多床室)	(単位) 970 960 950 940 930 920	974単位/日 (月額：296,300円)	-15単位(月額：4,600円減) -18単位(月額：5,500円減)	-15単位(月額：4,600円減) -18単位(月額：5,500円減) -20単位(月額：6,100円減)	
	910	959単位/日 (月額：291,700円)	941単位/日 (月額：286,200円)	921単位/日 (月額：280,100円)	
	900				
	890				
	880				
(施設毎)	常勤医師配置加算【20】 精神科医療指導加算【5】 機能訓練体制加算【12】		栄養体制加算 (管理栄養士配置加算【12】 または 栄養士配置加算【10】)	重度化対応加算【10】 準ユニットケア加算【5】	
	初期加算【30】 退所時等相談援助加算 (退所前後訪問相談援助加算【460】・退所時相談援助加算【400】・退所前連携加算【500】)		栄養マネジメント加算【12】 経口移行加算【28】 療養食加算【23】	個別機能訓練加算【12】 経口維持加算(・【28】又は・【5】) 看取り介護加算(・【160】又は・【80】) 在宅・入所相互利用加算【30】 在宅復帰支援機能加算【10】 身体拘束禁止未実施減算【-5】	
(利用者毎)					

※月額＝単位×10円×365日÷12ヶ月(10円桁にて四捨五入) ※【 】内は単位数

老人福祉法に基づく特別養護老人ホームが介護保険法に基づく介護老人福祉施設に移行した折は、措置費単価を基礎とし下回らないように報酬が決定されました。そして福祉施設の機能が変わるものではなく、むしろ利用者が選択できる、対等な関係で契約できるようになる、と制度の改善が強調されました。しかし5年後の今回の改正(?)では、福祉施設はすっかり介護施設となり、有料化(2005年10月)、医療化(2006年4月)が進みました。生活、暮らしは自己責任ということでしょうか？

本来福祉施設は誰もが安心して暮らすための生活支援の場でした。5年間が経過して、介護保険は福祉制度ではないことが更に明確になりました。生活の基盤が安定していないところに安心も安全も期待できません。誰もが安心して老いることができるために、そして年金だけでは生活できない高齢者、自己責任では解決できない課題をもつ高齢者のために、あらためて老人福祉の再構築が望まれます。みなさまはいかがお考えでしょうか。

◆訪問して学んだこと

〜スウェーデンの
リスク管理とは〜

平成17年度スウェーデン交換研修に参加させていただきました。海外旅行もほとんどない私でしたので見る物、聞くことのすべてが感動的で、素晴らしい経験でした。研修先のベガのスタッフが充実したプログラムを準備し、迎えてくださったことに感謝いたします。

私たちが実習しましたベガは、広大な公園に隣接して建てられています。訪問した時は5月。まだ空気が冷たく感じられましたが、春を心待ちにしていたかのように、公園には散歩する人が多く見られました。また、散歩の帰りにはベガの施設内のレストランへ立ち寄り食事をする人もいました。入居者も食事をこのレストランでとることもできるので、地域社会との交流が自然にできていました。

また、入居者の方も公園の池まで散歩へ出か

けることもありました。

建物は実に機能的に設計され、仕事する人の動線を考えて家具なども配置されています。利用者が使用する物品(薬やおむつなど)すべては居室の中に収納されています。そのため、職員が物を取りに行く時間がほとんどありません。

たとえば薬剤は本人の居室で保管することで、誤薬の防止につながっています。薬棚は鍵をかけることができます。そのため、内服薬・座薬・麻薬にいたるまで、その人に使用する薬剤は1箇所収納することができ、この管理方法になる前は、スタッフルームで管理していたのですが、誤薬のリスク管理のため、この改善策が採用されたとのことです。これには、初めは反対する職員もいたそうです。『どんなことでも、最初は反対されることが多いです。職員の仕事が行いやすくなるためには、その過程も大切なことです』と施設管理者のモニカさんは話されていました。食堂のテーブルにはキャンドル・花

などがセッティングされています。キャンドルは欧米では食卓によく使用されているものです。日本の施設では火気の取り扱いには神経質なのが普通ですが、ここでは『職員が見守っているので大丈夫』。ユニットの中で、常に利用者を見守っている環境であるため、利用者の行動を制約する必要がありません。『危険性を恐れて、行動を制限するのは良くない』という発言からも、日本での事故に対する考え方の違いを感じました。

生活習慣や国民性の違いから、介護に対する考え方も日本とは差があると感じました。スウェーデンでは合理性を非常に重視していると思いましたが、日本では業務を効率的に行うことと平行して利用者の個別性を重んじる対応も大事にしていると感じました。

この研修で学んだことを今後の仕事に生かせるようにしていきたいと思えます。

新村 満寿

研修報告

スウェーデン交換研修

第2回目になるスウェーデン・ヨーテボリ市「三つの財団」との交換研修が終了しました。今回はあさひ苑相談員の豊田朗子さんと、新村 満寿美さんが平成17年5月7日から17日までの11日間。「三つの財団」ベガナーシングホームから研修報告をしていただきます。

◆お迎えして学んだこと

〜笑顔があるから〜

「このケアが良いことはすぐにはわかった。」あさひ苑ホームで研修を行ったアンナさんが私に話してくれたことです。理由は、「スタッフが笑顔で利用者も笑顔だから。」私はこの言葉を聞いた時、とても嬉しかった事を覚えています。それと共に改めて「笑顔」の力を感じました。彼女たちの働くユニットは、穏やかで静かにゆったりと時間が過ぎていく場所でした。それに比べるとやや(?)にぎやかな感のある我があさひ苑。正直なところ、スウェーデンから来た彼女達がどんな印象を持つのか不安でした。ところが、改めて周りを見回してみると、確かにみんな良く笑っています。職員もご利用者も。そりゃ機嫌の悪い時も辛い顔の時も悲しい顔の時もあるでしょう。でも、1日の中で何度となく聞こえる笑い声を、ここから暮らすすべての人たちの笑顔を、これからも大切にしていきたいと思えました。

こんなにシンプルで素敵な事に気づかせてくれたアンナさん・アンネリさ

んに感謝です。

〜歩く早さが違う?〜

午後1時から午後9時の時間で実習をしてもらった時のこと。テナ交換←就寝薬の与薬←水分補給と移動して行くうちにアンナさんとアンネリさんを置いてきちゃった!! どうやら歩く速度が違ったようです。回廊型のフロアに6名の入居者が暮らすあさひ苑3階。対応はゆっくりと気をつけて来たつもりでしたが、ナースコールに応えたりルーティン業務に追われる私たちは、いつの間にか歩く速度が速くなってしまうようになっていきました。「ゆとり介護」という言葉が良く聞かれるようになってきた昨今でも業務をこなすために急ぐ必要があるのも現実です。もしかしたら廊下を歩く速度を彼女たちと同じぐらいにしてみたら、もっと色んなことに気づくことが出来るのかもしれない。

〜意見交換会より〜

研修の最終日に意見交換会がありました。アンナさんとアンネリさんがそこでアドバイスを下さったことのひ

とつに、もっと福祉用具や介助補助用具を活用すべきだという意見がありました。彼女たちが実習中に何度も話していたことなのですが、『すべての介護を手で行う私たちが何故身体を壊さないのか』という疑問でした。道具を活用することで解決される問題も多いのではないかと、そしてそれはご利用者のためでもあるのだと。確かにスウェーデンではご利用者の移動介助にはリフトを使用しているし、立ち上がり介助のための機械も導入されています。ご利用者と職員の負担を考えると確かに二人での介助や道具の使用など、何らかの対応を考えていかなければならないと感じました。

しかしながら、文化の違いやフロア形態の違い・収納の問題などもありなかなかこれまで介助補助具は浸透してきませんでした。ご利用者のための福祉用具もどんどん買い換えられる現状でもありません。

ただ、少なくとも今後に向けて真剣に勉強しながら考えて行こうと、あさひ苑では次年度に向けて福祉機器の研究を立ち上げることになりました。

豊田 朗



あさひ苑のスタッフと



言葉は通じなくてもコミュニケーションはとれます



レストランのようなテーブルセッティング



ここに薬剤一式が



食堂でくつろがれる方たち



春の陽のなかのティータイム

緑苑

春がみつかった!



『ねえねえ、春を探しているのだから?』出勤したら入居者の方が駆け寄って来てくださった。『さういえば、この季刊誌の記事を書くのに春を探して歩いているときに気づいてくださっていただけ。誘われるまま庭へ出て、隅っこの方へ...』

『ほら、そこに』
よおく目を凝らして地面を見てみると、なんと露の臺が顔を覗かせているじゃありませんか! まだまだ底冷えする日々が続いているし、直ぐ横では霜柱もあるのに、それでも春が近づいていることは、ちゃんと感じているのですね。

久しぶりに土の上に膝をついて、しばらく眺めてしまいました。

ふと見上げたら、梅の木にもつぼみと花が。いよいよ春ですねえ、結局この冬も長袖着ないで過ごしちゃったなあ:なんて思いながら体も気持ちもポッカポカ



たち

「みんな・しあわせ」

ファミリーサポートセンターでは『チョットあずける、チョットつたう、みんな・しあわせ』を合言葉に、子育てのサポートを受けた方(依頼会員)とサポートをしてくださる方(提供会員)の橋渡しをしています。

お子さんを預けるのが初めてという依頼会員も多く、親子とも不安なこともあるようです。でも、子どもが大好きで、喜んでサポートして下さる提供会員にあなたかく迎えられ、お子さんが笑顔になったらもう大丈夫。『おじちゃん』『おばちゃん』に会えることを楽しみにしている子どもたちもたくさんいるのです。

実の孫のようにお子さんをお預かりするうちに、ご夫婦で登録なさり、活動している提供会員が増えてきておりますが、それは春の陽ざしのような子どもたちの笑顔に出会える喜びが大きいから...。

あなたもファミリーサポートセンターの会員になって、子どもたちと楽しいひとときを過ごしてみませんか?

(ファミリーサポート担当)

宮本靖代



あさひ苑

「さくら」

あさひ苑の春一番と言えはやはり『桜』です。

あさひ苑の周辺には桜の木が沢山あります。デイサービスをご利用の方は桜の時期が近づいてくると苑の周りの木を見て『今は三分咲きね』等とだんだん増えていく桜の花を楽しんでいます。

他にも送迎の順路を少し変えて多磨霊園の桜を見に行ったりします。こちらの桜は大きな木が多く、あさひ苑の周りの桜とはまた違った風情があります。

どちらの桜も春の暖かさにつられてつぼみをふくらませていきます。あさひ苑で生活される方、通ってくる方も皆、桜の花を見ることで春の到来を実感できるのだと思います。桜の季節になると日本に生まれてよかったとみなさん感じるでしょう。

(介護員 片淵 誠)



連雀

笑いの伝播が春を呼ぶ?

かんだ連雀設立から早二年、職員皆で心がけたことは「笑顔」。疲れていても振り向けばアイドル顔負けの笑顔! まずはご利用者をお一人微笑ませたらしめたもの。隣の方も「ふふっ」と笑みをこぼされます。すると次第に皆様笑顔になられ、笑い声がリビングに響き熱気を生み暖房を切ることも。

お笑いの威力は凄いですね。滅多に笑われない方が「ドリフ大爆笑」で大爆笑! ドリフを尊敬した瞬間でした。

笑顔や笑い声って心身ポカポカしてきて春が来たような感じがしませんか?

ご利用者・職員で笑顔を伝播しあい、三年目の春を待ちたいと思います。

(介護員 野澤真紀子)



きずな

春一番

「できるの?」

日曜日の保育でのこと。普段は小学生と接している職員が、2才児の保育を担当していました。「おしっこ」と言うので、おトイレまでついていくと立って上手に用を足し「おわった」というので職員がズボンあげます。

あれ? オムツはいってるな? とは思いながらも、お母さんがもしものことを考えてはかせているのだらうと、気にもとめていませんでした。その日の帰り、お迎えに来たお母さんが荷物をみて「あれ? オムツ使わなかったの?」と一言。

「?????」実は、なんの疑いもなく自分でできるように見えたが、おうちではオムツのヘビニューザー。

人を見たのか、

気分的なものか、

お母さんにもぜひ

見せてあげたい「用の足し様」でした。

(少年指導員)

若林佑子



岩本町

思い出いっぱい笑顔も満開

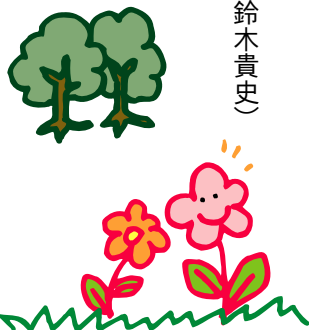
梅の花が咲く頃、デイサービスでは、去年一年間で撮影した写真を貼るアルバム作りを行いました。その台紙として、桜やイチヨウ、ひまわりなどの下絵に細かく裂いた色紙を貼っていくのです。

その作業の合間に、皆さんで見ている写真を手にしたAさんが「こんなことあったわね」と。続いてBさんが「今からどれくらい前になるのかしら。」すると、Cさんが「今年もこんなことやの?」いつの間にかやらアルバム作りは中断。皆さん笑みをこぼしながら、思い出話に花が咲いていました。

写真をのそくと、職員もご利用者の皆さんも皆笑顔。そして今、おしゃべりしている誰もがまた笑顔。

今年も岩本町ほほえみプラザは、笑顔いっぱいです。

(介護員 鈴木貴史)



ボランティア紹介

〜かんだ連雀〜

☆身も心もピカピカに☆

かんだ連雀では、毎月1回日曜日、メイクやハンドケアを行うボランティアがいらっしやいます。ボランティアさんは、メイクやボディケア用品で有名な「THE BODY SHOP」の社員の方々です。企業のコミュニケーション活動として昨年の1月より来て下さっています。メイクやハンドケアを受けられたご利用者はたいそうご満悦で、傍らで眺める職員はつい「私にもしてほしい」とつぶやくほど。

今後ともよろしくお願い致します！

(野澤 真紀子)



笑顔もすてきな方々です。

御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

あかしや会 秋山酒店 小林正樹 浅川春己 朝久静江
 朝日新聞厚生文化事業団野崎 足立屋 (株)アツブル
 ファーム 飯塚清江 池城安俊 池田貞次 石井宏 伊
 集院兼大 伊藤靖子 井踏世津子 井上圭典 入澤直子
 内保三重子 有限会社栄光社 (株)エヌ・ティ・エー・
 ドコモ 大内商事 大沢良三 大森真理子 岡田悦臣
 緒方シゲ子 小倉妙子 小澤善晃 小澤米子 乙葉美代
 子 小野寺京子 花王㈱コーポレートコミュニケーションシ
 ョン部門社会貢献部 加藤光子 金子商店 兼坂駒紀友花
 会 河村廣 北原青果 窪田一郎 久保田摩耶子 熊谷
 俊彦 栗林正昭 来栖明美 小島ユミ子 小林俊司 小
 藤東洋 小山満里子 近藤宏 佐伯和美 櫻井圭子 (株)
 GMPインターナショナル橋田恵美 (財)資生堂社会福

社事業財団高橋敦子 篠塚カツ 浄土宗東京教区八王子
 組青年会会長古宇田順一 新日本石油株式会社大場 新
 日本石油株式会社佐藤 菅澤孝子 高橋和子 竹内枝
 田所仙子 田中美津子 千葉直 寺沢文子 東京出版協
 同組合日本出版クラブ 東京福祉会 東穀協会総務部
 中村昭蔵 楠崎徹夫 日産化学工業株式会社 (財)日本
 遺族会九段会館 東神田町会 平野和郎 フラワーキャ
 ンドル事務局 文京学院大学人間学部保育学科2年生
 三鷹市役所子育て支援室川嶋 三鷹市役所子育て支援室
 田代 三菱東京UFJ銀行 緑町睦月会 武蔵府中法人
 会女性部会

(平成17年10月〜平成18年1月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 赤田美恵子 赤林好子 秋山恵美子 綱代恵
 美 阿部才千代 飯田アヤ子 飯塚喜亥子 井口イマ
 池田靖邦 石黒富佐江 石坂勝世 和泉小ビッグバンド
 板橋元子 市川アイ子 市川知子 井踏世津子 伊藤
 浜子 伊東富美子 井上陽子 上田悦子 上野玲子 鶴
 沢しず 白井せつ子 内野ミヨ子 梅沢佳代子 江口亜
 津子 遠藤みつよ 大内洋介 大久保峯子 大倉弘子
 小笠原敦子 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 荻村
 光恵 小倉道子 尾崎節子 尾崎ヨシ子 海江田紀久子
 梶田慶子 鹿島千重子 片桐キミ子 加藤静 加藤洋
 子 金澤静江 上沢美知子 亀岡紀知信 亀田裕美 川
 崎綾子 川崎和代 川崎恵 川島スミ子 菊池智子 城
 所栄子 木下照子 木村幸子 草野美鈴 久保田摩耶子
 警察学校 弦間まさ 小出晨一 小出由美子 河野ト
 シヨ 小島百合子 小谷文子 小林貞子 小林久子 小
 林陽子 今野幸子 ザ・ボディ・ショップ 斎藤歩 斉
 藤孝子 酒井紘子 佐藤英子 佐藤なかり 佐藤初江
 佐野田鶴子 三秀貿易 重田文子 島津 弘子 島田た
 ず清水文枝 下江美鈴 下条エイ子 白石隆子 神藤美
 根子 新屋典子 鈴木綾香 鈴木チエ子 鈴木昌子 鈴
 木嘉子 瀬戸貞子 蘭田澄子 高島米子 高田道敏 高
 鍋恵子 鷹野栄子 高橋幸子 高橋ちよ子 田口稔子
 竹内範子 竹内由美子 竹松ふく 辰本ケイ子 立石絵
 里香 田中久美子 田中翠 田部美智子 丹野由紀子

千葉よし 長南暁子 土屋和子 土屋とき枝 角田和歌
 子 手塚正輝 中井啓子 中山康 中澤キミ子 中下秀
 子 中嶋永子 長島広美 永野信子 中村清美 中村フ
 サ子 中村真伊子 中村美佐江 二家貞子 新津好美
 西久保長子 西宮智恵子 二宮澄子 日本スポーツ吹矢
 協会 根岸路子 野坂昭弘 萩原春代 橋口綾子 長谷
 川宣子 羽鳥みのる NPO法人花咲き村 丹生初江
 早川洋子 羽山直子 原敬五郎 原田康子 肥後住江
 平泉順子 平澤みどり 平田敦子 平野幸子 平山房子
 福岡恵利子 船岡栄子 フルートボランティア 法師
 人富子 堀切重明 牧内ヤス子 牧野新子 町田真知子
 松浦良枝 松沢通子 松下朗 松下朋子 松田恵子
 松野アイ 松原優子 松本みなと 水谷静枝 水野智恵
 水野由香 水美智子 三井喜久江 三井淑子 宮崎亜
 希 宮崎美知子 宮下美智子 明神よし恵 明神れい子
 三輪孝子 茂木万里子 本橋直人 守永朋子 谷貝祥
 子 八木かつ子 安田恵 山上涼子 山下真悟 山田一
 丸 山田佳津江 山田サワ子 山田シヅ 山田順子 山
 本峯子 悠・友・YOU 横田公子 與座京子 吉田陸子
 米山秀子 脇山令子 渡辺勇 渡辺キク 渡辺たづ子

(平成17年10月〜平成18年1月)

特別養護老人ホーム 信愛泉苑
 高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
 養護老人ホーム 信愛寮
 特別養護老人ホーム 信愛緑苑
 府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑
 府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
 府中市子ども家庭支援センター たっち

特別養護老人ホーム かんだ連雀
 かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
 千代田区立岩本町ほほえみプラザ
 子ども家庭支援センター しらとり
 母子生活支援施設 白鳥寮
 母子生活支援施設 東京都網代ホームきずな

